

## 主な修正箇所について

	ページ	修正内容
1	28	藤沢市が考える住宅確保要配慮者の方々を追記。
2	32	3行目に「各施策については横断的に取り組んでいく」旨を追記。  施策体系の「施策」「具体的取組」に【重点】(拡)(新)を追記。 合せて、凡例を追加。
3	41	(2) 施策① 市営住宅の長寿命化等による利活用の推進 ↓ 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
4	45	施策③「災害時における住宅の応急修理」を追加。
5	47	(2) 施策① 2 県住宅供給公社や都市再生機構等の取組の研究 ↓ 2 県住宅供給公社や都市再生機構等の取組の検討 もしくは、「取組内容の研究」で調整中
6	52	2 居住支援協議会による要配慮者の住宅確保及び入居後の支援(新) 具体的な検討事項として、○の3つ目を追加。 ↓ 「国の制度を利用した補助金制度の検討(低額所得者の入居負担軽減のための支援・登録住宅の改修に対する支援)」  取組のイメージのイラストに吹出しで「市民・事業者の理解と協力」「地域の各種団体等によるサポート」を追加。
7	55	上段の囲い内 現況と課題 市営住宅が一斉に老朽化し、修繕の優先順位を定めることが困難な状況にある。現在、藤沢市市営住宅等長寿命化計画に基づき、改修工事を計画的に進めている。 ↓ 市営住宅のうち、直接建設型の多くは老朽化が進んでおり、また、借り上げ型については、契約の更新時期を迎え、再借り上げの契約を進める必要があります。市営住宅ストックの適切なマネジメントを図るために、長寿命化計画の見直しや、計画的な改修工事、多様なリフォームやバリアフリー化の検討を進めていきます。

8	56	3 市営住宅の多様なリフォームの検討やバリアフリー化の検討（新） 具体的な検討事項として、○の2つ目を追加。 ↓ 「居住支援協議会と連携した登録住宅（住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅）としての活用方法の検討」
9	62	「住生活に係る地区別の状況」を資料編として本編に編入
10	77	「用語解説」を追加